

小千谷闘牛振興協議会



Profile

「越後の牛の角突きの習俗」は、江戸時代の文豪、滝沢馬琴の著した『南総里見八犬伝』にも登場することから、一説には千年以上続いているともいわれており、1978年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

小千谷闘牛振興協議会は、この習俗を永く後世に伝承しようと牛の角突きを開催しております。小千谷市東山地域で伝えられている神事として、そして伝統的行事として守り継がれてきた牛の角突きは、引き分けさせる事が原則。体重約1tの牛がぶつかり合う大迫力の力比べが最高潮に達した時、興奮している牛を引き離す勢子の妙技や雄姿も見応えがあります。